

報道機関各位

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「今年はこうなる！2021年の景気見通し」 ～県内の企業経営者へのアンケート調査結果について～

2021年を迎えるにあたり、当研究所では毎年恒例の「景気見通しアンケート」を福島県内の主要企業経営者にお願ひし、70社から回答を得ました。今般、アンケート結果についてとりまとめましたので、お知らせいたします(アンケート時期：2020年11月)。

なお、詳細は本日発行の当研究所機関誌「福島の進路」2021年1月号及び当研究所ホームページに掲載いたします(福島の進路 調査レポート)で検索、または右のQRコードをご利用ください。



記

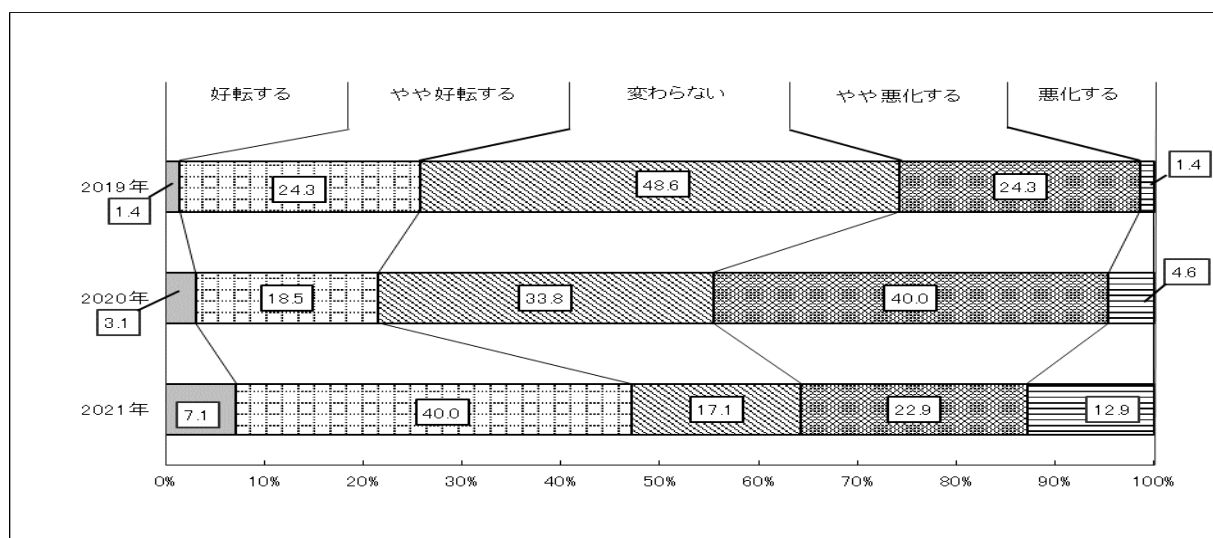
1. 国内景気の見通し

Q. 2021年の「国内景気」について、2020年と比べてどのように判断しますか？

～昨年とは違い、良化する予想が大幅に増加～

	2019年	2020年 (a)	2021年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転する・やや好転する	25.7%	21.5%	47.1%	25.6 ㊦
変わらない	48.6%	33.8%	17.1%	△16.7 ㊦
やや悪化する・悪化する	25.7%	44.6%	35.7%	△8.9 ㊦

※小数点第二位を四捨五入しているため、前年比増減が合致しない場合や下記図表と一致しない場合あり(以下同)



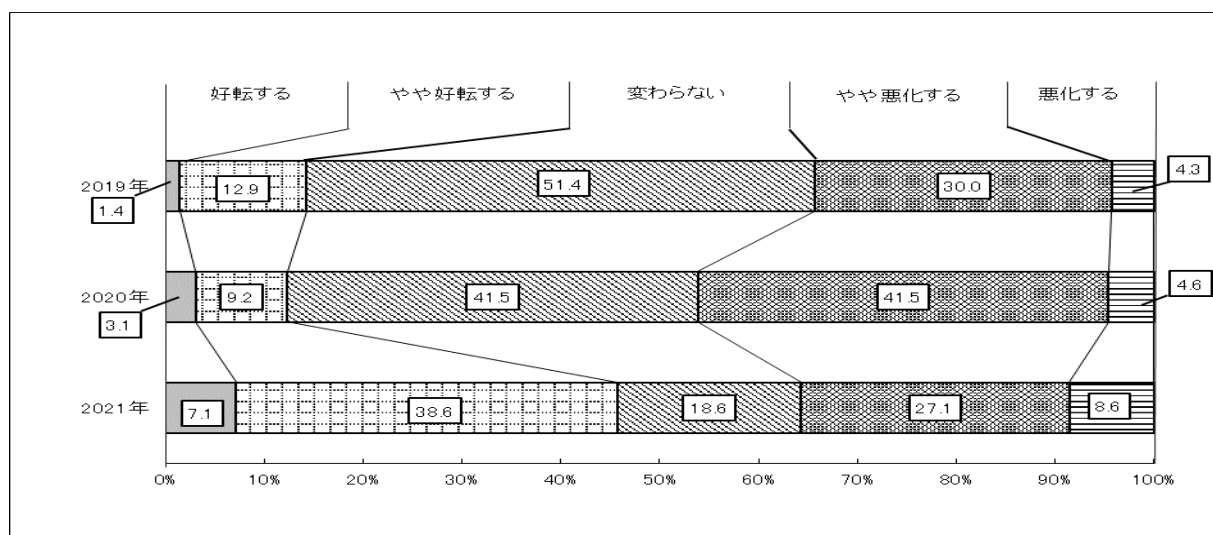
「好転する・やや好転する」が47.1%(前回比+25.6 ㊦)と大幅増加する一方、「変わらない」が17.1%(同△16.7 ㊦)と大幅に減少、「やや悪化する・悪化する」が35.7%(同△8.9 ㊦)と減少した。前々回の2019年調査と比較すると「好転する・やや好転する」は21.4 ㊦の大幅増加、「やや悪化する・悪化する」は10.0 ㊦の増加という結果となった。2020年3月以降の新型コロナウイルスの影響による景気低迷が大きく、4～6月期が底となり、その後政府等の介入による景気回復策等により一部持ち直しの動きがみられたことから良化傾向の見通しが増加したものと思われる。

2. 県内景気の見通し

Q.2021年の「県内景気」について、2020年と比べてどのように判断しますか？

～国内景気と同様、良化する予想が大幅に増加～

	2019年	2020年 (a)	2021年 (b)	前回比増減 (b)-(a)
好転する・やや好転する	14.3%	12.3%	45.7%	33.4 ㊦
変わらない	51.4%	41.5%	18.6%	△23.0 ㊦
やや悪化する・悪化する	34.3%	46.2%	35.7%	△10.4 ㊦



県内景気の見通しについては「好転する・やや好転する」が45.7%で前回比33.4 ㊦の大幅増加となったものの、「変わらない」が23.0 ㊦減少し18.6%、「やや悪化する・悪化する」が10.4 ㊦減少し35.7%となった。国内景気と同様、2020年3月からの新型コロナウイルスの感染拡大による景気低迷に対して、政府や地方自治体が補助金や特別定額給付金などの新型コロナウイルス対策を実施したことにより景気に一部持ち直しの動きがみられたことから、2021年の県内景気については良化の見通しが増加したものと思われる。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 とうほう地域総合研究所 担当：永山
 TEL 024(523)3171